

住之江工場建物等調査結果の概要

1 現況調査

①躯体調査（打診調査・ひび割れ計測）

- ・屋上部分の防水及び外壁面のシーリング材に劣化が見られ全面的な改修が必要。
- ・コンクリート躯体では、柱・梁は良好であるが、壁面にはコンクリートの乾燥収縮による 0.2mm 前後のひび割れが見受けられる。全般的には強度上の問題はない。
- ・ガス洗浄室の 2 階・3 階の梁において、洗煙排水漏えいによる鉄筋腐食から露筋している梁が 2 か所見受けられた。劣化している部分をはつり調査のうえ鉄筋およびコンクリート部分の補修が必要である。

②コンクリート強度調査

- ・壁面コンクリートのコア抜き（18 か所）を行い、コンクリート強度試験を実施したところ、すべてのコアで設計強度（FC20.6N/mm²）を上回っていることを確認した。

③コンクリート中性化調査

- ・コア抜きを実施したコンクリートの中性化調査を実施したところ、18 か所中 7 か所で想定進行値よりも中性化が進んでいることが分かった。また、投入ホッパー上部のコンクリート壁では鉄筋に達する中性化が確認された。
- ・中性化が進んでいる部分は主にゴミピットと炉室を隔てている壁面であり、中性化対策が必要である。
- ・ゴミピット内面コンクリートについては、コア抜き調査は実施していないが、他事例での検証から中性化対策が必要である。

④不同沈下測定

- ・問題はない。

2 総評

- ・基本的なコンクリート構造体に問題はなく、適切な予防保全（防水対策、中性化対策、一部梁の補修）を行えば健全である。